

## 令和7年度土地造成事業会計の状況について

## 1 要旨・目的

土地造成事業会計の厳しい経営状況を踏まえ、今後の収支見通し(令和7年度当初予算案反映後)について報告する。

## 2 現状・背景

- 土地造成事業は、産業集積や雇用の創出等を図るため、関係市町と連携し、企業ニーズに応じた産業用地を確保し、企業誘致・投資誘致を促進することにより、本県の持続的発展に貢献してきた。
- 一方、経営状況は、景気低迷に加え、バブル経済崩壊以降の地価の下落に伴う分譲価格の見直しなどにより、極めて厳しい状況となっており、一般会計の支援に頼らざるを得ない状況にある。

## 3 今後の収支見通し

- 分譲収入を未確定のものとして計上しない場合、入野地区の企業債の最終償還年度である令和21年度末時点の累積資金不足額が約159億円となる見込みとなっている。
- 令和6年度当初予算編成時と比較すると、入野地区の事業化に伴う土地造成費などの予算を計上した結果、約20億円の資金不足が発生し、加えて、他の未分譲地の維持管理に必要な一般管理費などの経常費用等による資金不足約5億円により、計約25億円の悪化となる見通しである。

令和7年度当初予算案反映(入野地区含む) ※一般会計繰入を除く

(単位:億円)

| 区 分        | R6決算 | R7  | R8   | R9   | R10  | R11  | R12  | R13  | R14  | R15  | R16  | R17  | R18  | R19  | R20  | R21  |
|------------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 収入 J       | 1    | 2   | 3    | 9    | 9    | 9    | 10   | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    |
| 支出 K       | 56   | 6   | 23   | 14   | 22   | 10   | 17   | 5    | 1    | 1    | 1    | 3    | 4    | 5    | 5    | 5    |
| 資金収支 L=J-K | ▲55  | ▲4  | ▲19  | ▲5   | ▲13  | ▲1   | ▲7   | ▲4   | ▲1   | ▲1   | ▲1   | ▲2   | ▲4   | ▲5   | ▲5   | ▲5   |
| 資金期末残高     | ▲82  | ▲85 | ▲105 | ▲110 | ▲124 | ▲125 | ▲132 | ▲136 | ▲137 | ▲138 | ▲139 | ▲141 | ▲145 | ▲150 | ▲154 | ▲159 |
| (企業債残高)    | 41   | 42  | 28   | 29   | 22   | 26   | 19   | 16   | 16   | 16   | 16   | 15   | 12   | 8    | 5    | 0    |

※分譲収入は未確定のため収支に見込んでいない。

令和6年度当初予算編成時 ※一般会計繰入を除く

(単位:億円)

| 区 分        | R6予算 | R7  | R8   | R9   | R10  | R11  | R12  | R13  |
|------------|------|-----|------|------|------|------|------|------|
| 収入 J       | 1    | 0   | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    |
| 支出 K       | 58   | 3   | 20   | 5    | 12   | 1    | 7    | 5    |
| 資金収支 L=J-K | ▲57  | ▲2  | ▲19  | ▲5   | ▲12  | ▲1   | ▲7   | ▲4   |
| 資金期末残高     | ▲85  | ▲87 | ▲106 | ▲111 | ▲123 | ▲123 | ▲130 | ▲134 |
| (企業債残高)    | 41   | 41  | 24   | 21   | 10   | 10   | 4    | 0    |

約25億円の収支悪化  
(分譲収入は見込んでいない)

中期財政運営方針策定時(H27.12) (単位:億円)

| 区 分        | R6   | R7   | R8   |
|------------|------|------|------|
| 収入 J       | 0    | 0    | 0    |
| 支出 K       | 55   | 24   | 18   |
| 資金収支 L=J-K | ▲55  | ▲23  | ▲18  |
| 資金期末残高     | ▲146 | ▲169 | ▲187 |
| (企業債残高)    | 39   | 17   | 0    |

約52億円の収支改善  
(令和5年度の本郷産業団地の  
完売などによる)

4 経営改善に向けた今後の取組

- 土地造成事業は、地域経済の活性化や、雇用の創出に寄与してきた重要な事業であり、収支改善に向けて、次のことに取り組む。
  - ・ 未着手用地のうち令和7年度から事業化する入野地区については、着手とともに営業活動を開始し企業への周知を図るほか、造成開始とともに公募を開始するなどにより早期分譲を目指す。また、令和6年11月に廃止した箕島産業廃棄物処分場（安定型）跡地については、売却処分に向けて手続きを進める。
  - ・ 未分譲地の早期完売に向けて、製販一体化による企業への迅速な対応や技術的知見を伴った営業活動を行うとともに、引き続き、関係市町と連携を図り、企業の投資動向などの情報を収集して企業への営業活動によって分譲促進を図る。

【参考】 産業団地の分譲状況

令和7年1月末現在の未分譲面積は、2団地 10.5ha となっている。

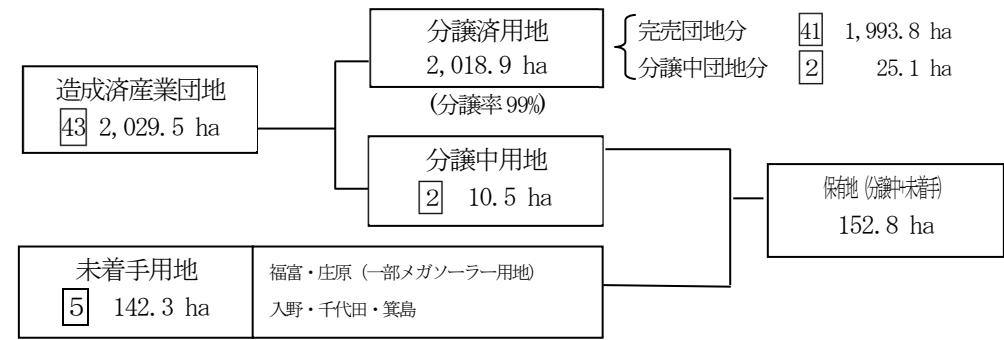
【団地別分譲状況（令和7年1月31日現在）】

（単位：ha、％）

| 地域  | 団地名       | 全面積<br>A | B    | 分譲済面積 |      |     | 立地協定<br>C | 残面積<br>A-B-C | 分譲率<br>B/A |
|-----|-----------|----------|------|-------|------|-----|-----------|--------------|------------|
|     |           |          |      | R4    | R5   | R6  |           |              |            |
| 東部  | 本郷産業団地    | 27.5     | 27.5 |       | 27.5 |     | 0.0       | 0.0          | 100.0      |
| 中部  | 竹原工業・流通団地 | 13.8     | 13.8 | 0.8   |      |     | 0.0       | 0.0          | 100.0      |
|     | 安浦産業団地    | 17.5     | 13.3 |       | 0.6  |     | 0.0       | 4.2          | 76.0       |
| 北部  | 大朝工業団地    | 18.1     | 11.8 |       |      |     | 0.0       | 6.3          | 65.2       |
| 合 計 |           | 76.9     | 66.4 | 0.8   | 28.1 | 0.0 | 0.0       | 10.5         | 86.3       |

※ 端数処理の関係で合計等が一致しない場合がある。

【産業団地全体の状況】



※ 端数処理の関係で合計等が一致しない場合がある。

※ □の数字は団地数を示す。